

アジアスポーツアカデミー事業構想

「不可能」を「道」に変える。
日本のスポーツ界に、再び革命を。



琉球スポーツアカデミー株式会社

代表取締役 石毛 宏典

“道なき場所に、道を創る。
それが私の原点です。📈”

かつて「独立リーグ創設」という夢を語った時、多くの人に笑われました。しかし、その道は今、若者たちが夢を追いかけるための確かな「滑走路」となっています。

そして今、私は新たな「不可能」に挑みます。
才能はあるのに環境がない。世界へ行きたいのに術がない。
そんな既成概念を、すべて壊すために。

私たちが描くのは、「アジアのIMGアカデミー」です。



沖縄というアジアの玄関口で、競技の枠を超え、国境を超え、そして「スポーツ」と「教育」の壁さえも超える。
世界で戦えるアスリートと、引退後も社会をリードする「生き抜く力」を持つ人間を、ここから輩出します。



転換期を迎える日本のスポーツ界

日本のスポーツ市場は、今まさに大きな成長期を迎えています。



市場規模15兆円へ

政府は2025年までに市場規模を15兆円に拡大する目標を掲げ、産業化を強力に推進。



世界での活躍が加速

オリンピック、WBC、NBAなど、日本人選手の国際舞台での目覚ましい成果が、次世代への夢と新たな市場を創出。



国際大会の日本開催

主要な国際大会の開催が続き、スポーツへの注目と投資熱はかつてないほど高まっている。

今こそ、世界基準の育成環境を作る絶好の機会です。

しかし、その光の裏には深い影がある。

成長の可能性とは裏腹に、日本のスポーツ界は構造的な課題を抱えています。

1. 指導者・経営人材の不足

情熱や経験則に頼りがちで、世界レベルの経営や科学的指導ができる人材が圧倒的に不足。

2. グローバル化の遅れ

多くのクラブが国内市場に依存し、グローバルなファン獲得や収益モデルの構築ができていない。

3. 地域スポーツの格差

部活動の地域移行が進む中、指導者や練習環境の受け皿が不足し、才能が埋もれている。

これらの課題が、未来の可能性に「蓋」をしています。



その「蓋」を打ち破る、私たちの答え。

日本初、世界基準のスポーツ・ボーディングスクール アジアスポーツアカデミー

単なる技術指導の場ではありません。

アスリートとして、そして一人の人間として、
生涯にわたって輝き続けるための「人間形成」の拠点です。

スポーツと教育を最高レベルで融合させ、
アジア全域から才能を集め、世界に通用するリーダーを育成します。

世界で「戦う」ための、5つの柱

才能を最大限に引き出す、独自の育成システム。



① 超一流の指導体制



元プロアスリートや各分野のトップコーチ陣が、世界で戦った者だけが知る「本物」を直接伝授します。



② 科学的トレーニング



最新のスポーツ科学とデータ分析に基づき、個々の成長段階に最適化されたプログラムを提供。根性論から脱却します。



③ スポーツと学力の両立



競技力だけでなく、知性や教養もトップアスリートの重要な資質。グローバルに活躍するための学力を徹底的にサポートします。

世界で「生き抜く」ための、5つの柱

アスリート生命の、その先を見据えたキャリア形成。



④ 多角的サポート人材の育成



④多角的サポート人材の育成

選手だけでなく、トレーナー、アナリスト、栄養士など、スポーツ産業を支える「プロ」も育成。引退後のキャリアパスを広げます。



⑤ 才能開花の環境づくり



⑤才能開花の環境づくり

子供たちが様々なスポーツに触れ、自身の本当の適性を見極められる「キッズニア」のような環境を提供。一つの競技に縛られない可能性を育みます。

夢への第一歩：最強の布陣で挑む初期構想

まずは、プロ育成の実績とニーズが高い3つの競技に特化。各界のレジェンドが、世界への道を切り拓きます。

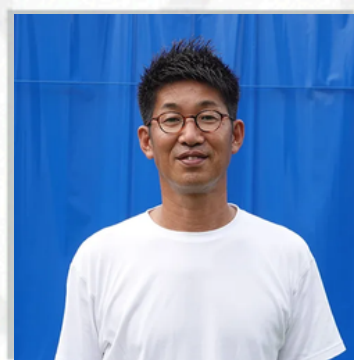
野球



石毛 宏典

元西武ライオンズ黄金期主将
独立リーグ創設者

テニス



川原 努

元デビスカップ日本代表

ゴルフ



岩本 沙織

LPGAティーチングプロ

少数精鋭の指導で、確実な成果を生み出します。

スモールスタートから、グローバルスタンダードへ。

私たちは、地に足をつけた成長戦略を描いています。



育成特化アカデミー設立 (2025～)

野球・テニス・ゴルフに特化し、
まずはプロ育成の成功モデルを確立。
沖縄でスモールスタートを切る。

ボーディングスクール設立

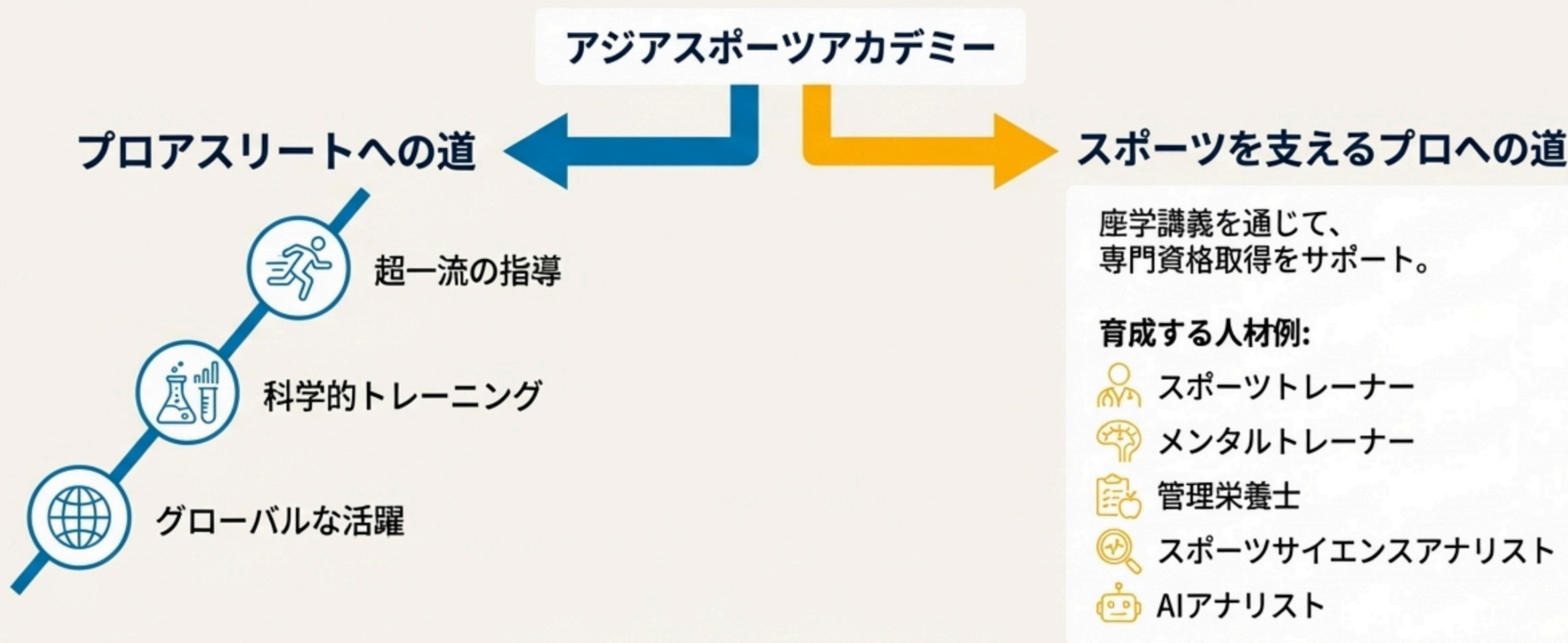
教育機関としての認可を目指し、
最新の学習・居住環境を整備した
本格的な全寮制スクールへと進化。

グローバル展開

インターナショナルスクールを誘
致・連携。アジア全域から留学生を
受け入れ、「アジアのIMG」として
の地位を確立。

アスリートの人生に寄り添う、引退後も見据えたキャリア形成支援

怪我などにより選手を断念することになっても、
スポーツ界で活躍し続けられる知識とスキルを身につける。



成功を加速させる、独自の共創モデル。

私たちは、単独では事を成しません。地域社会と共に成長する「産学官連携」のエコシステムを構築します。

学 (Academia)

大学・研究機関と連携し、スポーツ科学やAI解析などを導入。科学的根拠に基づく世界最先端の育成システムを確立。

産 (Industry)

企業の持つ実践的ノウハウ、データ技術、スポンサーシップを活用し、教育の質と事業の安定性を両立。

官 (Government)

沖縄県・市町村と連携し、地域スポーツの拠点化、スポーツツーリズムの推進、行政支援を通じて地域経済の活性化に貢献。



これは、アスリート育成を超えた「地域共創」プロジェクトです。



パートナーの皆様と共に創る未来

この事業は、単なる投資ではありません。日本の未来、アジアの未来を形作るプロジェクトへの参画です。



次世代リーダーの育成

世界で活躍するアスリート、グローバル人材の輩出に貢献。



地域創生と経済効果

沖縄の新たなランドマークとして、スポーツツーリズム、合宿誘致、雇用創出など、計り知れない経済効果を生み出します。



イノベーションの実験場

スポーツテック（AI、ウェアラブル）や最新の教育メソッドを実践・発信する、アジアのショーケースとなります。



未来へのレガシー

アジアのスポーツ振興をリードする企業として、揺ぎないブランド価値と社会的なレガシーを共に築きましょう。

共に、誰も見たことのない景色を。

データや理論は不可欠です。しかし、最後に不可能を可能にするのは、いつだって人の「情熱」です。
私たちは、未来のアジアのリーダーたちを、ここ沖縄から世界へと送り出すための滑走路を創ります。

この壮大な挑戦に、あなたの力を貸してください。
日本のスポーツの未来を創るパートナーシップについて、ぜひお話しさせてください。





冷静に、熱くなれ。



ASIA SPORTS ACADEMY

お問い合わせ

琉球スポーツアカデミー株式会社

代表取締役 石毛 宏典

【ウェブサイトURL】

【メールアドレス】

【電話番号】

ご清聴いただき、誠にありがとうございました。